

第58回
茨城県

生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

母親大会

in 大洗

2018年6月10日(日) 大洗文化センター・永町会館・寿集会所

(受付 9:30) 10:00 ~ 16:00 午前：分科会 午後：全体会

記念講演 八法亭みややっこが語る憲法嘸

「歴史に学び、未来を志向する日本国憲法」

講師

飯田美弥子さん(弁護士)

【プロフィール】日立市生まれ。水戸一高落研出身。離婚後に、司法試験合格。八王子合同法律事務所所属のため「八法亭みややっこ」と名乗る。ハンセン病国賠訴訟弁護団、京王電鉄バス分社化リストラ争議弁護団、高尾山にトンネルを掘らせない天狗裁判弁護団、再審布川事件弁護団、痴漢えん罪沖田国賠事件弁護団、日の丸君が代強制反対裁判弁護団(市立中学校教師)などに参加、そのほか労働事件・市民事件など、弁護士業務の傍ら、憲法落語を始めたところ、全国から依頼が殺到中！

【著書等】「八法亭みややっこの憲法嘸」「八法亭みややっこの日本を変える憲法嘸」「八法亭みややっこの世界が変わる憲法嘸」



<資料代 1,000 円> 保育あります(1歳以上)

主催：第58回茨城県母親大会実行委員会 / 大洗・水戸・笠間・小美玉・茨城・城里母親大会実行委員会

連絡先 TEL:029-824-8949 FAX:029-824-8947

母親大会のはじまり



「日本婦人の訴え」から世界母親大会開催へ

1954年、アメリカの水爆実験によってマグロ漁船員の久保山愛吉さんが亡くなりました。広島、長崎につぐ三度目の被爆に母親たちは怒り、平塚らいてうら5人は全世界にむけて「水爆禁止のための訴え」を送り、1955年スイスのローザンヌで世界母親大会の開催が決まりました。

それに先立ち6月、第1回日本母親大会が東京で開かれ、日本各地の炭鉱や農村からも、1円募金などで送り出された2000人の母親が集まりました。

世界大会には、河崎なつを団長にあらゆる分野から代表を選び、14人が参加しました。はばひろい母親運動の出発点です。

母親大会のあゆみ

くらし・平和を守ってたくさんの母親・女性たちが行動

帰国後の報告会は、全国各地で数千回開かれ、各地に母親運動が広がりました。そして母親・女性たちの願いをかかげ、子どもたちを小児マヒから守るための生ワクチンの緊急輸入、学校給食の脱脂粉乳を生乳に、ポストの数ほど保育所を、高校全入や私学助成などの教育問題、物価値上げ反対、地球環境・公害問題など母と子をとるまくさまざまな問題にとりくみ、貴重な成果をあげながら、58年余をあゆみつづけてきました。

世界母親大会によせられたギリシャの詩人ペリディス夫人の詩の一節「生命(いのち)を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」は、今日まですべての母親・女性の心をとらえ、連帯のスローガンになっています。

茨城県母親大会のあゆみ

茨城県でも、霞ヶ浦浄化運動をはじめ、高校の増設・学校給食の自校化・30人以下学級などの教育問題、食と農の問題、医療・介護年金の問題、女性の権利や貧困と格差に関する問題等を取り上げ、「ひとりぼっちのお母さんをなくそう」を掲げてだれでも自由に参加できる、話し合いの広場として歩んでまいりました。



第64回日本母親大会 in 高知 **《全体会》** 2018年8月25日(土) 12:30~17:00 高知県民体育館
《分科会》 8月26日(日) 9:30~14:20 高知県立大学、高知城ホール他8会場